



岐阜市立岐阜東幼稚園
令和3年2月5日
こあら組だより No.32

おふろやさん、早くしよう

『もりのおふろやさん』のお話には、子供たちが大好きな動物がたくさん出てきます。1学期から、新聞紙のおふろ遊びを何度もやってきました。今回は、カラフルなポンポンをたくさん出すと、中に潜る子や友達同士で掛け合う子たちの姿が見られました。小さめの段ボールに丸い底をつけると、桶ができます。ガムテープが切れるようになってうれしい子とまず、1つ桶を作りました。すると、みんな自分の桶が欲しくなりました。色を塗りながら、「ぼくは、ライオンがいい。」「僕はティラノザウルス。」となりたい役を言っています。「劇ごっこをするから、何役がいい？」と、私は聞いていないのです。」自分の桶に色を塗りながら、どの子も自分でなりたい役を決めたのです。遊びの中から自然につながっていった劇ごっこです。

厚紙に絵を描いて色を塗って、自分のお面ができるとどの子もいろいろな先生に見せつつ、うれしそうに被っています。帰りの会の時間に園長先生に見てもらおう相談をし、私が遊戯室の準備をしてこあらぐみに戻ると、全員がお面をかぶって、「おふろやさん、早くしよう。」とのことでした。子供たちのやる気に押されて、すぐ始めることにしました。友達と簡単な言葉のやりとりを楽しんでいます。緊急事態宣言下ということで、生活楽しみ会は延期となりましたが、楽しみにしてくださいね。



鬼は外、福は内

大きな紙にみんなで、赤鬼と青鬼を描きました。パスや絵の具で絵を描くことが好きな子、鬼に関心がある子が多いので、どこを塗りたいのか考えて線からはみ出さないように気をつけながら、友達と場を共有してのびのびと描けました。味のある怖い鬼ができました。

2月2日、園庭に赤鬼と青鬼が登場しました。泣く子がいるかなと思いましたが、誰も泣きません。「鬼は外、福は内。」と大きい声で言って、カー杯豆を投げていました。司会の先生から、「もう悪いことはしないって。鬼さんも踊りが踊りたいんだって。」と聞くと、「いいよ。」と答え、一緒に『赤鬼と青鬼のタンゴ』を踊りました。ドキドキしたけれど、楽しい1日でした。

